

完全学校週五日制の評価は



外園憲太郎議員

外園憲太郎議員 平成十四年四月から実施された「完全学校週五日制」について、全国世論調査によると、五五割がよくないと否定的な評価を示している。本町での評価はどうか。

福留教育長 休日を家族と過ごしたり、地域行事に参加したり等、子供たちの八三割が良かったと答えている。その理由として、「自分の好きなことができる」、「ゆつくり休める」、「友達と遊べる」などである。また、よくない理由としては、

「することがない」、「みんなと会えない」等である。保護者からは「子供がゆとりを持って生活できるようになった」との声も聞かれる。しかし、休みにグループで遊び回るのが、気がかりである。今後、家族の一員としての役割や地域行事への積極的参加等を指導していきたい。

基礎学力への影響は

外園議員 授業内容の三割削減や授業時間の短縮等で、学力低下の危機感の声を聞くが、心配はないものか。

教育長 基礎学力の定着は、大きな教育課題である。町独自のチームティーチングや小人数指導な

ど各学校の実情を踏まえ、具体的な対策を講じ、基礎学力の定着に努力したい。

学習塾通いの実態は

外園議員 学習内容、時間の削減で、学習塾通い

が増えて、さらに低学年化にもなってきているようだ。実態はどうか。

教育長 十二月現在で、

小学校二二八人、中学校二〇九人となっている。今の段階では、目立った動きはないが、中学校で

若干増加傾向にあるようだ。

「ちくりん村出前講座」の利用状況等は

外園議員 昨年、「町民学習運動」の一環として、「ちくりん村出前講座」が開講されたが、課外授業としての利用状況並びに成果は。

教育長 平成十三年度は、全体では一〇講座で四二八人の受講があった。課外授業としては、宮之城中学校で一講座が開講された。十四年度は社会科、総合学習時間を活用して四講座九三人の受講があった。今後も、学校と共に、地域の青少年育成活動に、積極的に活用していきたい。



町立山崎小学校の授業風景